

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2002-511782(P2002-511782A)

【公表日】平成14年4月16日(2002.4.16)

【出願番号】特願平10-549149

【国際特許分類第7版】

A 6 1 L 27/00

A 6 1 C 8/00

【F I】

A 6 1 L 27/00 L

A 6 1 C 8/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月9日(2005.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年5月9日



特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第549149号

~~(PCT / SE 98 / 00891)~~

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ノベル バイオケアー アーバー (パブル)

3. 代 理 人

住 所 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目6番20号

新栄ビル6階 TEL(06)6441-1816

A381 氏 名 ~~(10381)~~ 弁理士 風 早 信 昭

4. 補正対象書類名

明 細 書

請求の範囲

5. 補正対象項目名

明 細 書

請求の範囲

6. 補正の内容

- (1) 明細書第12頁第20行「Nanci他, 1994)」を「Nanci他(1994)」と訂正する。
- (2) 請求の範囲を別紙の通り訂正する。

以 上

別 紙
請 求 の 範 囲

1. 少なくとも植え込み区域の組織に面するよう意図された面が酸化チタンの面を備えたチタンから作られ、骨組織に永久錨止されるインプラント素子において、インプラント面を電気化学的工程、陽極酸化処理により改変して厚さ約10 - 200 nm の酸化チタンを設け、機械加工された酸化チタン面に比べて増した表面酸化物結晶性などの変化した表面構造とし、サブミクロンメートルスケールでの増大した粗さ、即ち10 nmないし数 μm の範囲の増大した粗さ、を得て高度の骨-インプラント接触を達成することを特徴とするインプラント素子。
2. インプラント面を過酸化水素処理することにより改変することを特徴とする請求の範囲1記載のインプラント素子。
3. 表面酸化物結晶性を多結晶構造に変化させることを特徴とする請求の範囲1記載のインプラント素子。
4. 陽極酸化処理面は不規則に分布した滑らかな部位と粗い部域を有する不均質面であることを特徴とする請求の範囲1記載のインプラント素子。
5. 粗い部域は10 - 100 μm の大きさであることを特徴とする請求の範囲3記載のインプラント素子。
6. 滑らかな部域と粗い部域との比が1よりも大きく、好ましくは約3であることを特徴とする請求の範囲4記載のインプラント素子。